

「ブラームス／濃密な五重奏の世界」

演奏とお話し「Va.磯村和英／東京クワルテットとともに44年」

■演奏の部 2019年 第8回秋吉台音楽コンクール優勝の若きクワルテット・インテグラが2019年ドイツ
デトモルト・ブラームスピアノコンクール優勝の石井楓子と東京クワルテット(1963~2013)
のヴィオラ磯村和英と追い求める「ブラームス／濃密な五重奏の世界」

- ブラームス / ピアノ五重奏曲 へ短調 Op.34 45min
- ブラームス / 弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 Op.111 30min

・2019 第8回 秋吉台音楽コンクール 弦楽四重奏部門 第1位 クワルテット・インテグラ

Vn. 1st 三澤 響果 (桐朋学園大学ソリストディプロマ3年)
Vn. 2nd 菊野 凜太郎 (桐朋学園大学ヴァイオリン科3年)
Va. 山本 一輝 (桐朋学園大学ヴィオラ科卒業)
Vc. 築地 杏里 (桐朋学園大学チェロ科卒業)

・2019 第2回 デトモルト=ブラームス・ピアノコンクール1位 *Brahms-Klavierwettbewerb Detmold 1st Prize*

P. 石井楓子 (桐朋学園大学研究科修了 2013年音コン1位)
特別共演 Va. 磯村和英 (桐朋学園大学特任教授)

■お話しの部 「東京クワルテットとともに44年」 60min

お話し 磯村 和英
解説・司会 西原 稔 (JBS顧問 桐朋学園大学教授)



クワルテット・インテグラ



P. 石井楓子



Va. 磯村和英



解説・司会 西原 稔

2020年6月28日(日) 2pm

会場 ヤマハ銀座店(7丁目) 6F サロン 94席

チケット 全自由 一般¥5000 会員¥4500 学生¥3000

後援 ハンブルク国際ブラームス協会、 アメリカブラームス協会(ABS)
共催 (株)ヤマハミュージッククリエィング銀座店 (お問合せ先/JBS)
主催 日本ブラームス協会 (JBS) <http://japan-brahms-society.org>
チケット 発売開始 4/1より予定
一般券(枚数限定) ヤマハ銀座店5Fピアノ売場 Tel 03-3572-3132
お問合せ 会員券、学生券の販売 日本ブラームス協会 事務局 (JBS)
留守Tel/Fax 050-3648-0002 eメール [jbs1973\(a\)jcom.home.ne.jp](mailto:jbs1973(a)jcom.home.ne.jp)



● Quartet クアルテット・インテグラ

2015年4月桐朋学園大学および桐朋学園女子高等学校音楽科に在学中の学生により結成。「インテグラ」とはイタリア語で統合や誠実さを意味する。一体性を持った演奏や音楽に向き合う姿勢を評価され、元東京クワルテットのヴィオラ奏者、磯村和英氏によって名付けられた。第8回秋吉台音楽コンクール 弦楽四重奏部門 第1位。併せて、ベートーヴェン賞、山口県知事賞を受賞。元アルバン・ベルク四重奏団の1st ヴァイオリン奏者、ギンター・ピヒラー氏に招待され、キジアーナ音楽院夏期マスタークラスに全額スカラシップを得て参加。イタリア各地のコンサートにて好評を博す。17年、山崎伸子プロデュース輝く若手演奏家による「未来に繋ぐ室内楽」Vol. 1に出演し、山崎伸子氏と共演する。18年～19年、とやま室内楽フェスティバルに参加し、富山県内ホールや美術館などへのアウトリーチ公演を行い、練木繁夫氏と共演する。19年、堤剛プロデュース「弦楽器の響」に出演し、堤剛氏と共演する。16～19年、桐朋学園大学の成績優秀者による室内楽演奏会に出演。プロジェクトQ第14章、第17章に参加。その他、全国各地にて演奏を行う。NHK Eテレ「らららクラシック」に出演。サントリーホール室内楽アカデミー第5期フェロー。磯村和英、山崎伸子、原田幸一郎、池田菊衛、花田和加子、堤剛、毛利伯郎、練木繁夫各氏に師事。公益財団法人松尾学術振興財団より第29回助成を受ける。

〈公式HP〉 <https://vcofficialsite.wixsite.com/quartetintegra>



Vn. 三澤響果

Vn. 菊野凜太郎

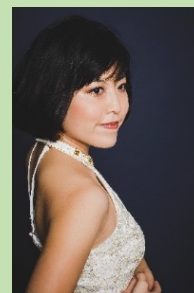


Va. 山本一輝

Vc. 築地杏里

● Piano ピアノ 石井楓子(いしい ふうこ)

桐朋学園大学卒、同研究科修了。2013年第82回日本音楽コンクール第1位。2015年より渡欧し、ケルン音楽大学を経てバーゼル音楽院修士課程修了。2019年第26回ブラームス国際コンクール第3位入賞。また第2回ドイツ・ブラームスコンクール優勝。SFK Euro Symphony, デトモルト劇場オーケストとブラームスの2番の協奏曲を共演。またスイスのJemanuel & Eva Maria シェンク財団のソリストコンクールで受賞、アルゴフィアフィルハーモニー交響楽団とベートーヴェンの協奏曲第1番を演奏した。2014年のN響をはじめ、読響、東響、東フィル、日フィル、神奈川フィル、群響、セントラル愛知、ブラショフ・フィル、ヤナーチェク・フィルなど国内外のオーケストラと共演。2018年文化庁新進芸術家派遣制度より奨学金給付を受ける。これまで、室内楽を東京カルテット、三上桂子、藤原浜雄、堤剛、Anthony Spiriの各氏、ハンマークラヴィアをEduardo Torbeanelli氏、歌曲伴奏Christoph Pregardien, Jan Schultszの各氏、ピアノを江崎光世、加藤伸佳、横山幸雄、村上弦一郎、Claudio Martinez-Mehnerの各氏に師事。ドイツものを中心にドイツ、スイス、フランスなど、各地での演奏活動に取り組んでいる。今年度はバーゼル交響楽団、日本センチュリー交響楽団、デトモルト室内管弦楽団、Iso-Lviv交響楽団との共演の他、ドイツのブリュートナーサロンでのリサイタルシリーズなどを予定している。バーゼル在住。ブラームス協会は6年ぶりの出演。



● Viola ヴィオラ 磯村和英 (いそむら かずひで) 特別ゲスト

桐朋学園でヴァイオリンを小林健次、室内楽を齋藤秀雄各氏に学び、1968年よりジュリアード音楽院に於いてヴァイオリンをイヴァン・ガラミアン、ヴィオラをウォルター・トランプラー、室内楽をジュリアードカルテットに学ぶ。69年の秋に東京クワルテットを結成。翌70年、ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門で一位を受賞。以後、クワルテットと共に44年にわたり、ニューヨークを拠点に世界各地で演奏活動を続けた。室内楽の指導には長年積極的に取り組み、イェール大学で教鞭をとる他、アメリカ、ヨーロッパ、日本で数多くの室内楽講座を行う。東京クワルテットが録音したレパートリーは幅広く、スイスのモントルーレコード大賞、イギリスのグラモフォン年間最優秀室内楽賞など数多くの受賞を重ね、グラミー賞には7回ノミネートされた。また個人としては、ヴィオラソロとソナタのCDをリリースしている。現在、桐朋学園大学特任教授、サントリーホール室内楽アカデミーのファカルティを勤め、マンハッタン音楽院で室内楽とヴィオラの指導も行う。2013年には外務大臣表彰、14年にアメリカ・ヴィオラ協会よりキャリア・アチーブメント賞を授かる。

●解説・司会 西原稔(にしはら みのる) JBS顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽之友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽之友社)、「ブラームス」(音楽之友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史の研究成果が「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下として2013年音楽之友社より出版され、2014年第26回ミュージック・ペンクラブ音楽賞をケツクの研究・評論部門で受賞する。日本ブラームス協会(JBS)では顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その成果を年会誌『赤いはりねずみ』に発表している。